

平成29年度(2017年度)

管理事業名	サッカースタジアム事業			総合計画の体系	第4章 第3節	個性がひかる学びと文化創造	
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 39	サッカースタジアム費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室				
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)サッカースタジアム基金積立金 サッカースタジアム基金積立金事業 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)スポーツ推進基金積立金 スポーツ推進基金積立金事業						
事業の目的と概要 プロサッカーの試合をはじめ、スポーツの推進及び青少年の健全育成ならびに市民及び地域の交流を図ることを目的とした活動等へ施設の貸出を行うとともに、安心・安全に利用できるよう、スタジアムの維持管理を行います。 スタジアムの将来的な大規模修繕に備え、「市立吹田サッカースタジアムの管理に関する基本協定書」の規定に基づき、指定管理者である株式会社ガンバ大阪より大規模修繕費として支払いを受け、サッカースタジアム基金への積み立てを行います。 市立吹田サッカースタジアムのネーミングライツ料をスポーツ推進基金に積み立て、同基金からスタジアム利用促進事業に一部充当することにより、スタジアムの利用料金を低減し、市民等のスタジアムへの利用を促進します。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
プロサッカー入場者数	人	108,768	675,185	471,064	プロサッカーの試合(J1・J2リーグ、ACL、キリンカップ、FIFAクラブワールドカップ、天皇杯等)の入場者数
その他入場者数	人	-	26,012	40,478	プロサッカーの試合以外(諸室等利用、視察、指定管理者自主事業)の入場者数
成果の説明	当該スタジアムにおいて、プロサッカーの試合を2016シーズンより本格的に実施しています。平成28年度(2016年度)は、キリンカップ、FIFAクラブワールドカップの国際試合が開催されましたが、平成29年度(2017年度)については、このような国際試合の開催はなく、J1(ルヴァンカップ、ACL、天皇杯含む)が22日開催で入場者数が454,916人(平均入場者数20,678人)、J3が13日開催で入場者数が16,148人(平均入場者数1,242人)でした。また、プロサッカー試合以外の入場者数は、40,478人であり、総入場者数は、511,542人でした。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	3,500,276	201,068	255,068	54,000
経常収入 小計(a)	3,500,276	201,068	255,068	54,000
給与関係費	9,558	14,497	21,873	7,375
物件費	500,505	151,174	151,103	△70
維持補修費	335	4,838	-	△4,838
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	3,000,064	35	27,075	27,040
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	217,393	434,787	447,401	12,614
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	972	1,854	1,566	△287
退職手当引当金繰入額	9,148	4,524	7,611	3,087
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	3,737,974	611,709	656,629	44,920
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△237,699	△410,641	△401,561	9,080
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	12,389,693	-	250,350	250,350
特別収入 小計(d)	12,389,693	-	250,350	250,350
特別支出	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	12,389,693	-	250,350	250,350
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	12,151,994	△410,641	△151,211	259,430
一般財源充当額	13,664	21,543	25,576	4,033
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	12,165,658	△389,098	△125,635	263,463

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
その他経常収入	スタジアムネーミングライツ料54,000千円の増
負担金・補助金・交付金等	サッカースタジアムにおける利用料金低減負担金27,000千円の増

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	3,500,276	201,068	255,068	54,000
行政サービス活動支出	3,511,391	172,611	203,645	31,033
行政サービス活動収支差額	△11,115	28,457	51,424	22,967
投資活動収入	-	-	27,000	27,000
投資活動支出	2,549	50,000	104,000	54,000
投資活動収支差額	△2,549	△50,000	△77,000	△27,000
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△13,664	△21,543	△25,576	△4,033
一般財源充当額	13,664	21,543	25,576	4,033
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	特徴的な事項
投資活動収入	スポーツ推進基金からの繰入金
投資活動支出	スポーツ推進基金積立金の増

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
入場者数1人あたりのコスト	平成27年度	108,768人	2,185円	経常収入について、指定管理者から納入される土地賃借料等相当額は土地賃借料等として支出、大規模修繕積立金はサッカースタジアム基金へ積み立てています。またネーミングライツ料はスポーツ推進基金に積み立てています。上記のことから、経常費用から経常収入を除いた額で単位当たりのコストを算出しており、結果、入場者1人あたり785円のコストがかかっています。
	平成28年度	719,276人	571円	
	平成29年度	511,542人	785円	
	平成27年度	-	円	
	平成28年度	-	円	
	平成29年度	-	円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末		差額 B-A	勘定科目	平成28年度末		差額 B-A
	A	B			A	B	
現金預金	-	-	-	流動負債	1,854	1,566	△287
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,854	1,566	△287
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	11,737,513	11,534,538	△202,975	固定負債	11,648	17,520	5,871
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	11,737,513	11,534,538	△202,975	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	11,648	17,520	5,871
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	13,502	19,086	5,584
土地	-	-	-	純資産	11,774,011	11,648,376	△125,635
建物・工作物	-	-	-	重要物品	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	-	5,924	5,924	投資その他の資産	50,000	127,000	77,000
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	50,000	127,000	77,000	長期貸付金	-	-	-
基金	50,000	127,000	77,000	基金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
その他債権	-	-	-	その他債権	-	-	-
資産の部合計	11,787,513	11,667,462	△120,051	純資産の部合計	11,774,011	11,648,376	△125,635
				負債及び純資産の部合計	11,787,513	11,667,462	△120,051

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

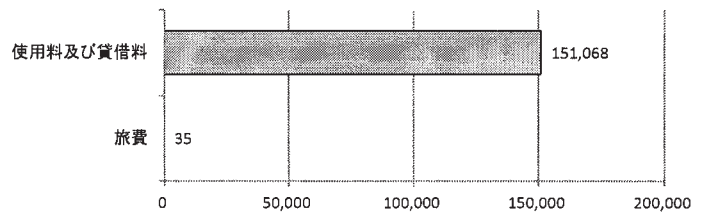
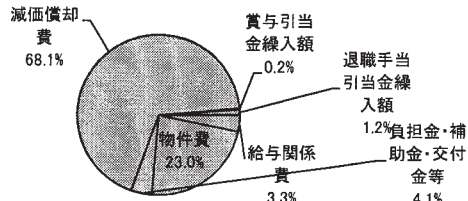
事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員 年間従事証日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	月平均	人				
事業従事人数	2.58	人		244	日	31,050
給与関係費等	29,367	千円		1,683	千円	
内、時間外勤務手当	1,448	千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	減価償却による減
基金	サッカースタジアム基金積立及びスポーツ推進基金積立による増

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	市立吹田サッカースタジアム
取得年月日	平成27年(2015年)9月30日 竣工
建物・工作物の取得価額	12,634,035 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,099,497 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	0.0	0.0	-	0.0
施設老朽化比率	1.8	5.3	8.7	3.4
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	0.4	9.7	8.3	△1.4
経常費用対公共資産比率	30.2	4.9	5.2	0.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常収入については、平成29年12月にパナソニック株式会社と市立吹田サッカースタジアムの愛称を命名する権利に関し協定を締結したことにより、ネーミングライツ料の納入があったことから、ネーミングライツ料54,000千円の増となっています。ネーミングライツ料は、スポーツ推進基金に積み立てた後、27,000千円をスタジアムにおける利用料金低減負担金に充当するため繰り入れました。
経常経費の23%である物件費については、99.9%がスタジアム土地賃借料等となっており、その同額を指定管理者から納入されています。また、補助金・交付金等4.1%の99.9%が上記のスタジアムにおける利用料金低減負担金となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

ネーミングライツの対価を活用し、平成30年1月から実施している施設利用料金の低減により、市立吹田サッカースタジアムの利用者数の増加を図るとともに、スポーツ活動のみならず、地域振興やにぎわいを目的とした利用等に施設を貸し出すなど既存のスポーツ施設とは違った活用をすることにより、スタジアムをより身近に感じてもらい、また、市立吹田サッカースタジアムが市のランドマークとなるような魅力ある施設となるよう、今後とも取り組むことが必要です。